

二〇一三年五月二一日(参加者二名)

靄脱ぎて全容現るる青嶺かな	菜々
カフェテラス水の階段見て涼し	"
風涼し天空ガーデン楽流れ	"
御座船の朱を連ねゆく万緑裡	"
皮脱ぎしままにたけのこ伸びに伸び	こすもす
木道を先導するはとかげかな	"
山並を写して植田展けけり	"
青田風右近の里に広ごりぬ	小袖
楼門の朱の際立ちし若楓	"
ドクダミの大群落に薬師堂	"
蔦若葉われもわれもと伸びにけり	よし子
若葉して山ほっこりと太りけり	"
総玻璃のビル立並ぶ街薄暑	"
ビル屋のテラスガーデン風薫る	はく子
御座船をながめの堤に風薫る	"
対岸へ飛石渡る川涼し	わかば
泳ぐかに川面の影や鯉のぼり	"
若楓コートに響くラリー音	宏虎

蒲の穂を揺らすは鯉と分りけり	ぼんこ
駅員の手すさびならめ豆の花	有香
若葉風厨の窓に通ひけり	よう子
もみ洗ふらつきよ手のひら逃げんとす	満天

定例会の選

二〇一三年五月二一日(参加者二名)